

ラテンアメリカにおける医療×地域研究×国際政治の対話

―慶應義塾大学医学部国際医学研究会 (IMA)

第 48 次派遣団 帰国報告会

2025 年 11 月 6 日 (木) 14:45 - 16:30

慶應義塾大学医学部国際医学研究会 (IMA) は、1976 年に設立された学生主体の国際医療ボランティア団体であり、これまでラテンアメリカ・アジア・アフリカなど世界各地で医療支援活動や調査活動を行ってきました。このたび、IMA 第 48 次派遣団は、2025 年夏にコスタリカおよびブラジル各地で約 47 日間にわたる医療活動・調査を実施しました。



本派遣では

- ◎コスタリカ：ニカラグア難民への医療支援体制の調査
- ◎ボアビスタ（ロライマ州）：ベネズエラ難民への医療・栄養支援活動
- ◎アマゾン川流域（パリンチンス）：巡回診療船同乗実習
- ◎ペルナンブコ州先住民族地域：伝統医療と現代医療の統合視察
- ◎サンパウロ大学 (USP) / サンパウロ州立パウリスタ大学 (UNESP)：
日伯医学生会議での学術発表

など、多文化的で多領域的な現場に身を置きながら、グローバルヘルスにおける医師の役割を実践的に学びました。

登壇者

報告：播田智大・河上幸司・難波美羅
(慶應義塾大学医学部学生・
IMA 第 48 次派遣団)

司会：舩方周一郎
(慶應義塾大学法学部准教授)

コメンテーター：
前田美千代
(慶應義塾大学法学部教授)
詫摩佳代
(慶應義塾大学法学部教授)

本報告会では、派遣団メンバーが現地で得た経験と知見を映像・写真とともに紹介し、医療と地域研究・国際政治をつなぐ総合的な対話の場を目指します。医学部のみならず、法学部以外の他学部の学生や教職員、広く一般の皆さまにもご参加いただけます。

開催概要

会場：慶應義塾大学三田キャンパス（東京都港区三田 2-15-45）：北館大会議室（北館 3 階）アクセス：<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

形式：対面のみ

使用言語：日本語

対象：学部・大学院生、教職員、医療関係者、一般

参加費：無料（事前登録制）（11/4 17:00 まで）

問い合わせ先：s-masukata★keio.jp（舩方周一郎）★は@に変更



参加登録/Registration

プログラム

時間	内容
14:30-14:45	受付・開場
14:45-14:50	開会挨拶
14:50-15:25	第48次派遣団活動報告①②：コスタリカ・ブラジル編 (難民・移民医療支援／巡回診療船／先住民族医療視察 ／日伯医学生会議発表)
15:25-15:45	コメンタリー：グローバルヘルスと国際医療協力の意義 ・法学の視点から（前田先生） ・グローバルヘルスの視点から（詫摩先生）
15:45-16:15	クロストーク：質疑応答・ディスカッション
16:15-16:25	今後の展望（次年度派遣に向けて）
16:25-16:30	閉会挨拶



期待される狙いや成果

- ◇ 医学生が得たグローバルヘルスと国際医療協力の実地知を学内外へ還元する。本活動を医学部にとどめず、法学部など他学部の学生にも共有し、国際的視野の涵養につなげる。
- ◇ 医療×地域研究×国際政治の知見を横断する対話の場を設計し、学際的ネットワーク形成を促進する。
- ◇ 難民・感染症・母子保健といった地球規模課題に対する包括的理解と実践力を育成する。

主催：慶應義塾大学法学部、後援：慶應ラテンアメリカ研究フォーラム
助成：日本学術振興会科研費（20K0024/22KK0014/25K04976 / 24K04754）

＜参考ウェブサイト＞[IMA](#) | [慶應義塾大学医学部国際医学研究会](#)

